



NO.

# いちょう

発行所

待乳山 本龍院

〒111 東京都台東区浅草7-4-1

- 0032 TEL. 03(3874)2030

FAX. 03(3874)5280

## 平常心を心がける

住職 平田真純

聖天様に祈念する動機はいろいろであると思いますが、何か願<sup>がん</sup>を立ててお祈りしようという場合、気合を入れて臨むところでありましょう。気合を入れるのはよいのですが、入れ込みすぎて肩に力が入ってしまうこともあるかもしれません。

何かにつけ、肩に力が入っていると、体はこわばり、気持ちにゆとりもなくなります。常にリラックスして平常心を保つことは大切であり、難しくもあります。聖天様に必死に祈願するときは、心に余裕のない時も多いのですが、できるだけ落ち着けるようにしたいものです。

神仏のお力をお借りしたい、そのお力におすがりしたいのであれば、そのお力を素直に受け取るためには心の準備をはかることも有意義でしょう。心の準備の一つには、心を無にするということがあると思います。「心を無にする」というと難しくなってしまうですが、「肩の力を抜いて、心をリラックスさせる」と、そう捉えてみたらいかかかと思えます。そうすれば、心の状態が自然と〇となり、聖天様のお考え、お導きを、何でも受け入れられる準備ができることでありましょ

う。

たとえば、様々な場面で、相手あるいは状況に対して、素早く反応する、素早く対処することが必要になることも多いと思いますが、肩に力が入っていると反応は遅れ、アクションも遅れます。余計な力が入らずリラックスしてお詣りされていれば、無意識にも聖天様の功德に反応し、よき暗示、示唆を受けられるかもしれません。

ただし、「力を抜く」とか「リラックスする」といっても、楽をしたり集中を切らすことはありません。

待乳山発行の経本『大聖歓喜天禮拜作法』の冒頭、「尊天礼拝要心」には「∴尊天を礼拝供養せんと欲わば、應に崇敬の念を發し、身心の清淨を保ち、∴」と記されています。また巻末の「信者の心得」にも「お詣りの日は身も心も清淨に保つこと、∴」とあります。心身を淨める、あるいはその心がけを持つということは、雑念が消え、リラックスするための重要な方便です。心身を淨めるとは、水を浴びたり、食事を精進にすることなどに限りません。ご真言を称える、お経を読む、お供え物をする、等々、神仏への供養はすべて自らを淨めることとなります。緊張感と開放感を両立させたいものです。

# 待乳山使り

## 浴油講 報告

二月二十日、浴油講を執行いたしました。

浴油祈禱を修す上で必要不可欠な胡麻油を御宝前にお供えし、大般若法要を厳修いたしました。

本年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、一般のご信徒の皆様方へのご随喜はご遠慮いただき、信徒を代表して総代のみ随喜されました。

講中加入のみなさま並びにごま油一斗缶をご奉納賜りました皆様方に感謝申し上げます。尊天様もお喜びになられておられるでしょう。



浴油講総代様ご随喜の様子

## たけした事務所法要 報告

二月六日、たけした事務所様の大般若法要を厳修いたしました。例年ですとたけした事務所様は当山本堂にて内陣、外陣を埋めるほどの参加者を招いて法要を行っていましたが、本年は新型コロナウイルスの影響により、たけした事務所様の代表者のみご随喜いただき、大般若経の転読によって、今年一年の厄除けを祈願いたしました。



たけした事務所 厄除法要

## 四月御縁日大法要・行事紹介

### 安全講祈禱会

四月十八日(日) 午前十一時

講金 一、五〇〇円 (二鉢増五〇〇円)

皆様の安全を祈願する安全講を執行いたします。  
新型コロナウイルスが発生し、全世界で猛威を振る

い、誰もがこの感染症と無関係でいる事はできず、すでに一年あまりが過ぎようとしております。

この一年を不安と恐怖に、また不便を感じながら過ごされた方も多いかと思われませんが、近い将来またコロナ以前のような、自由な生活を取り戻せるよう祈りましょう。

四月の安全講は普段の生活を安心、安全に過ごすよう尊天様にお願いお祈りする、大般若法要です。お申し込みは事務所にて、用紙にお名前と家内安全、身上一安全、交通安全、旅行安全の四種類からお選びください。お守りを授与致します。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、信徒様におかれましては、ご自宅でのお勤めをお願い致します。また、例年法要後に行われる広間での催し物は本年も中止となります。何卒ご理解、ご協力  
の程お願い申し上げます。

※お申込みはご自宅よりメールまたは電話でも承り

### 御奉納

三崎登子様より外陣燭台前の机をご奉納いただきました。



待乳山 「外番」有情

外番 永山武男

中春の絹漉の雨に煙る「待乳山本龍院」の風情が私は好きだ。

まだ葉をつけぬまま天に屹立する木々に囲まれた鮮やかな緑青色の甍の本堂伽藍は回廊のベンガラ色との対比も和して面白い。あと半月後に退職を控え、努めて冷静に振舞っているつもりだが、十年有余を当寺で「外番」として過ごさせてもらい、近時折々、様々な想い、思い出と一抹の淋しさが胸中を去来する。

「外番」の職務は文字通り戸外の仕事である。暑さ、寒さ、風雨等に拘らず、境内の美化、清掃に努めることであり、正直生易しい仕事ではなかった。でも、こんな中での喜びは自然との触れ合いが濃密であったことが大きかった。

「待乳山本龍院」は都会には珍しい自然豊かな寺院である。名物の銀杏をはじめ、多種の花木が植え込まれ、桜、躑躅、椿等々四季折々花々の絶える事のない寺である。

毎日この環境下で仕事を続ける中での喜び、楽しみが、凄まじいまでの落葉との格闘、酷暑下での作業の苦勞を忘れさせてくれた。

最後に「待乳山本龍院」の職員の皆さん、信徒の皆さんとの触れ合いも懐かしい思い出になってゆくだろうと思っている。皆さん個性豊かで温かな方々だった。お世話になりました。

## 御祈祷申込書

毎朝、厳修している浴油・別座祈祷申込書を刷新しました。

枠内をご記入の上、受付までお持ちください。

- ①氏名（ふりがな）※楷書でお願いします
- ②お電話番号
- ③祈祷種類（別座・浴油供・華水供）
- ④祈祷開始日（開始日のみ）
- ⑤願意 ※2種まで
- ⑥お札、お守り、不要（○で選択）
- ⑦受取方法（送りの場合は送り状記入）

以上、7ヶ所をご記入願います。

※枠の中をご記入下さい。

御祈祷申込書

お名前 ☐ あり ☐ なし 電話番号 03.3874.2030

金 円也

開始日 3 月 20 日 終了日 月 日

別座供 ☐ 浴油供 ☐ 華水供

心願成就 商売繁盛 家内安全 身体健全 ☐ お札・守り・不要

当病平癒 良縁成就 除災厄除 ☐ 本堂受取・お送り

その他 ( )

取扱い

※金額、終了日は受付者が記入します。

## 参拝参加について

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止ならびに自粛してまいりました諸行事を9月より再開致しました。すでにご存じの信徒様も多いかと思われませんが、参加方法、注意点を改めてご案内致します。

### ◎朝まいり会・写経の会

朝まいり会、写経の会は予約制となっております。朝まいり会は毎月一日から七日の中からお一人一日のみ参加できます。定員は一日七名です。

写経の会は十一月より第二日曜日とその前日の土曜日の計二日、それぞれ定員二十八名の午前十時の会のみ開催です。

朝まいり会、写経の会の予約は専用電話番号にてご本人のみ受付いたします。

毎月十五日より随月分限付・予約電話番号 080-7419-1297

朝まいり会はライブ配信がございますので、ご利用ください。

### ◎諸講、合同大般若法要

当面の間、当山僧侶のみで執り行ないます。ライブ配信がございますので、ご利用ください。お申込み頂いたお札、お供物等は法要終了後より受け取り可能です。

### ◎日曜勤行、坐禅の会

当面の間、中止とさせていただきます。



# 四月行事予定

## 御縁日大法要

### 安全講祈禱会

四月十八日（日） 午前十一時

講金 一、五〇〇円也

皆様の諸事の安全を祈願し、お守りをお授けいたします。

（一鉢増毎五〇〇円）

※法要は僧侶のみで行います、ライブ配信をご利用ください（詳しくは三面をご覧ください）

### 朝まいり会

四月一日～七日 午前八時から八時半

会費 五〇〇円也

### 写経の会

四月十日（土）、十一日（日）

午前十時のみ 会費 五〇〇円也

※事前予約制 詳しくは三面をご覧ください  
※事前予約制 詳しくは三面をご覧ください

### 合同大般若法要

四月二十五日（日） 午前十一時

法要料 五、〇〇〇円也

心願が成就し、より一層の御加護を頂くために、皆さんと一緒に上げる御礼の法要です。

※法要は僧侶のみで行います、ライブ配信をご利用ください（詳しくは三面をご覧ください）

### 五月の行事

#### 御縁日大法要

### 大般若講

五月二十日（木）

午前十一時

講金 一、五〇〇円也

※本年も昨年同様、香湯加持会は中止となり法要は僧侶のみで行います。

ライブ配信をご利用ください（詳しくは三面をご覧ください）

## ご祈禱のご案内

聖天様独特の供養法である浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力により一層高められ、私どもが不可能と思われるような願い事でも、尊天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。当山ではこの浴油祈禱を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈禱期間をお伝え下さい。またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

## 祈禱料

別座祈禱 壺万円（一週間）  
浴油祈禱 三千五百円（一週間）  
華水供 五百円（一日）

## 法要案内

当山では予約にて法要を行っております。寺務所にてお問い合わせください。

百味供養 法要料 八万円

沢山のお供物をお供えし、出仕の僧侶が声明をお唱えすることで、尊天さまに御礼の供養をいたします。

大般若法要 法要料 五万円

所願成就御礼の法要として、大般若経六百巻を転読いたします。

自動車加持 法要料 壺万円

当院にてお車のお加持をいたします。当日はお車にてお越しください。

皆様からのご質問、お知らせになりたいことを受け付けております。ご意見やご質問は [ityou@matsuchiyama.jp](mailto:ityou@matsuchiyama.jp) までメールをお送りください。